

福井市との包括連携事業

特産野菜・ふくいサラダニンジンプロジェクト

「きゃろふく」ネーミング・ロゴマークを作成しました。

生活科学学科 生活デザイン専攻 教授 西畑 敏秀



福井市との包括連携事業

福井市の新たな特産野菜を目指して、福井市園芸センターが開発を進めたふくいサラダニンジンのネーミングとロゴマークデザインを、2回生のプロジェクトチームが中心となって約1年かけて制作しました。9月16日には同センターで間引き作業や肥料散布を体験。11月30日には東村福井市長とともに、収穫作業と記者発表を行いました。ネーミングは生活デザイン専攻の1・2回生の約200の案から選定され、1回生・山本美穂の「サラダのヒロイン」がキャッチフレーズに。ロゴマークは2回生の上坂美帆のデザインが採用されました。ニンジンが苦手な人でも、生でサラダで食べられるという味わいや、オレンジ色の濃淡、黄色の3色のカラフルさなど商品の特性を表現しました。学生たちは、記者会見の会場でもきゃろふくのサラダや煮物、ジュースなどの試食を体験。きゃろふくは今後福井市の特産野菜として学校給食でも使用され、新しいロゴマークはパッケージや広報活動などに展開されるということです。



福井市園芸センターで行われた、記者会見に同席し発表しました。

サラダのヒロイン
きゃろふく



商品特性を活かした縦長の文字とカラーリングでニンジン象徴。